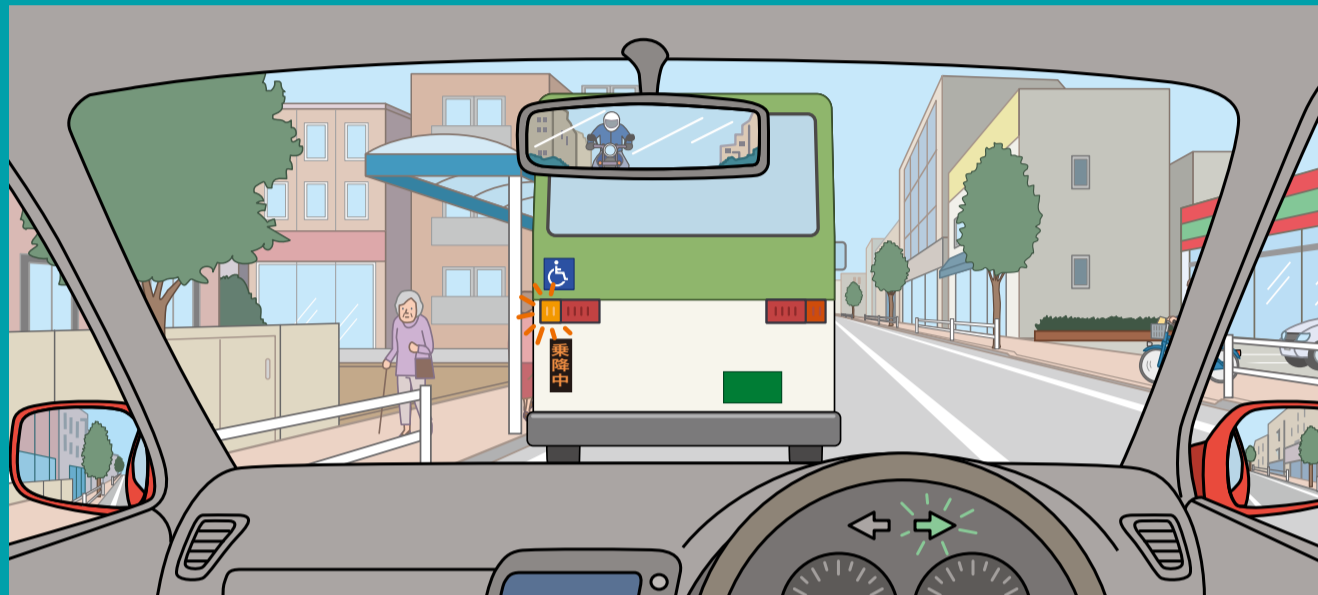


KYT 危険予測トレーニング

第88回 停車中のバスを追い越そうとしている時（四輪車編）

あなたは片側一車線の道路で停留所に止まっているバスを追い越そうとしています。
対向車はいません。
安全に走行するためには、
どのようなことを予測する必要がありますか？



交通事故を回避するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、停車中のバスを追い越そうとしている時の危険について考えてもらうためのKYTです。

活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見ながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつければ良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト（カラー・A4版）」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード（無料）できます。

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください。
●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業（株）安全運転普及本部
TEL：03(5412)1736 E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業（株）

SJ クイズ ?

歩行者編

- Q1** 2018年から2022年までの5年間で、人対車両の交通死亡事故は5019件発生しています。このうち、歩行者が横断中の割合は約何%でしょう？
①約48% ②約58% ③約68%
- Q2** 人対車両の交通死亡事故件数（2018～2022年までの合計）のうち、歩行者が横断歩道（横断歩道付近含む）以外の場所を横断中の割合は約何%でしょう？
①約17% ②約27% ③約37%
- Q3** 2022年の歩行者（第1当事者※）の違反別・交通事故件数をみると、最も多い違反は信号無視で、その次に多いのが道路横断に関するものです。道路横断の違反で最も多いのはどれでしょう？
①横断禁止場所の横断 ②横断歩道以外の横断 ③走行車両の直前・直後の横断
- ※交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。



「解答」はP7下、「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。
<https://global.honda.jp/safetyinfo/sj/>

新教材「自転車の安全な道路の走り方」

Hondaは自転車に関する交通事故の低減に寄与するための新たな教育教材「自転車の安全な道路の走り方」を開発。子どもがいる際の乗降車やヘルメットの有効性など自転車を安全に利用するために必要な基礎知識や、事故が増加傾向にある電動アシスト自転車の危険などをわかりやすく紹介している。また、信号機のない交差点を通行する自転車の行動を観察し、日頃の行動を振り返りながら、安全な走り方について考えていただけるよう、問いかけを入れながら進める教材となっている。

活用を希望される自治体、警察、団体の方は下記にお問い合わせください。
本田技研工業（株）安全運転普及本部
TEL 03 (5412) 1150



電動アシスト自転車の走行中の危険場面から電動アシスト自転車の特性を学べるようになっている



実際の交通場面を観察した映像から安全な走行について気づいてもらう

SJ編集部だより

～交通事故死者ゼロをめざして～

2023年活動報告（P5）で紹介した石巻ロイヤル病院を訪れた際に、同病院に入院中で退院後に運転復帰をめざす患者様と話す機会を得た。自分がクルマを運転しないと同居している家族との生活が成り立たなくなってしまうというこの方は、幸いにも退院したら運転ができるようになる見通しだ。その一方で、病気やケガによって運転を断念せざるを得ない人々は、公共交通機関が発達した場所で暮らしていない限り、移動の手段を奪われることになる。このように運転できなくなった人の移動の支援に期待されるのが自動運転である。2023

年に自動運転レベル4実現に向けた法令が整備され、今後は道路で自動運転車両を目にする機会も増えていくだろう。ただ、自動運転が本格的に実用化されるまでにはまだまだ時間がかかり、自動運転車両と人間が運転する車両が混在する過渡期がしばらく続くことになる。そうした状況では、ドライバーやライダー、自転車利用者に自動運転車両への理解を深めてもらうための教育・啓発も必要になってくる。自動運転車両を交通社会の新しい仲間として受け入れ、温かい目で見守ってほしい。